

今後の展開に向けて

令和7年2月7日

北陸地域国際物流戦略チーム事務局

【目次】

1. これまでの取組みを踏まえた今後の方針案
2. 「企業における物流BCP作成支援」に向けた具体的な取組み
3. 「物流BCPの重要性認知向上（PR）」に向けた具体的な取組み
4. 「代替輸送訓練の継続的な実施」に向けた具体的な取組み
5. 令和7年度取組み

1. これまでの取組みを踏まえた今後の方針案

1. これまでの取組みを踏まえた今後の方針案

これまでの取組み

社会インフラの確保

- 代替港湾を必要とするコンテナ貨物量の試算
- 代替輸送モデルケースの検討
- 関係者の体制・役割分担の検討
- バルク貨物の代替輸送の可能性の検討

事業継続の支援制度充実

- 代替輸送訓練(図上訓練)の実施
- 代替輸送手引書の作成および改訂
- 代替輸送における課題の抽出(代替輸送訓練のPDCA実施)

災害時における情報共有

- ポータルサイトの基本設計
- 北陸地域の港湾物流情報を一元化するポータルサイトを開設(H27.9～)
※コンテンツ: 道路情報等へのリンク、代替輸送手引書、物流関係者のリスト等

■太平洋側大規模災害時の北陸地域のバックアップ体制をとりまとめ

「代替輸送基本行動計画」を策定(平成28年度)

■代替輸送基本行動計画のフォローアップ 進捗の把握(平成29年度)

課題

「代替輸送手引書」を活用し、各企業において、自社の実情に合わせて、代替対応手順を作成する必要があるが浸透していない。

⇒一般的な企業BCPにおいては物流BCPの考え方が不足しており、物流BCPの概念が浸透していないことが伺えるため、物流BCP作成支援のチェックリスト(仮称)を作成することとする。

代替輸送
基本行動計画

物流BCP
作成支援の
チェックリスト
(仮称)

代替輸送
手引書

1. これまでの取組みを踏まえた今後の方針案

今後の方針案を踏まえた取組みは以下の通りである。次ページ以降で具体的な取組みを記載する。

1

企業における物流BCP作成支援

2

物流BCPの重要性認知向上（PR）

3

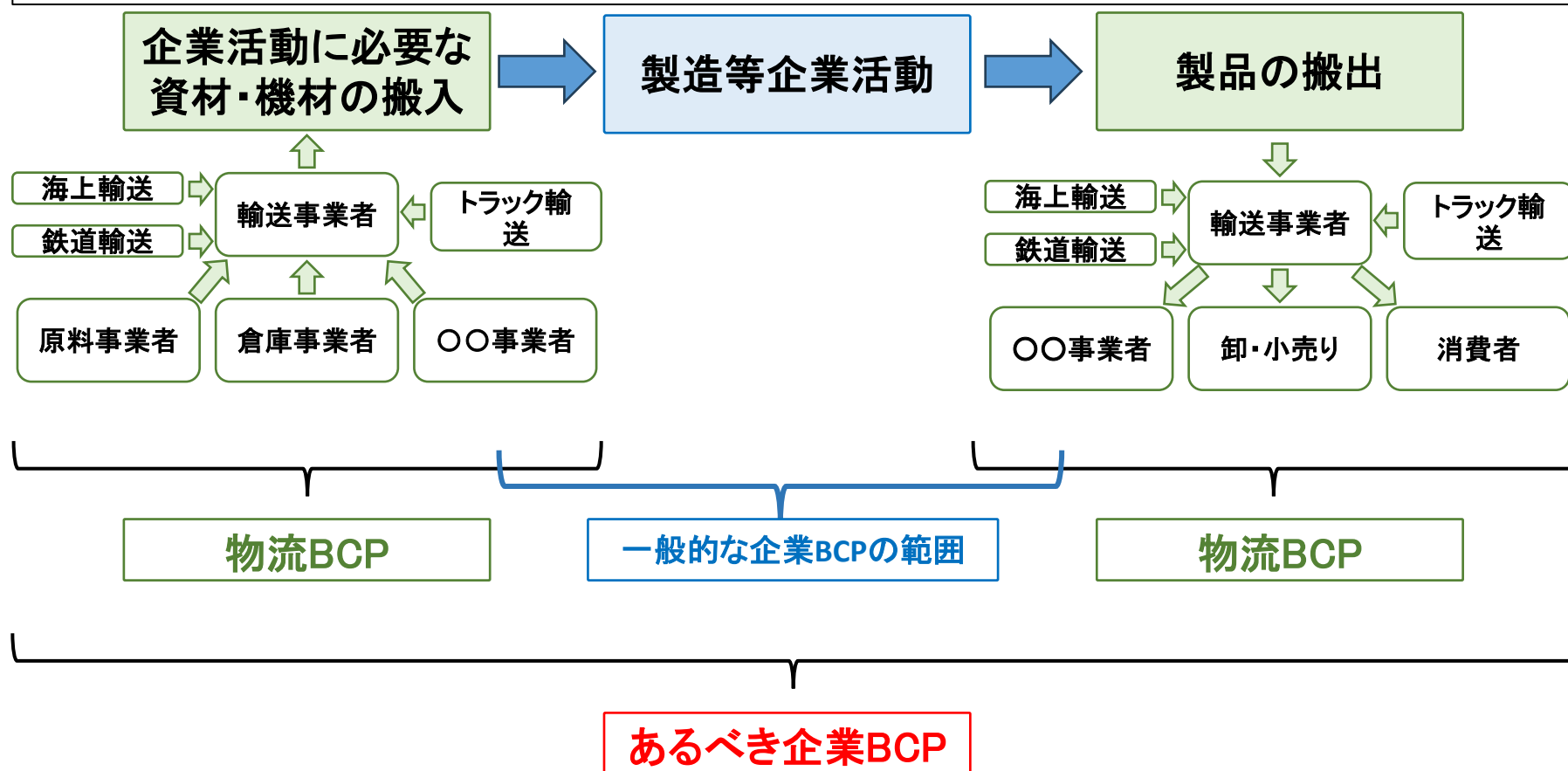
代替輸送訓練の継続的な実施

2. 「企業における物流BCP作成支援」に向けた具体的な取組み

2. 「企業における物流BCP作成支援」に向けた具体的な取り組み

(1) 「物流BCP」の概念整理

企業活動は通常、資機材等の搬入と製品等の搬出があり、そのいずれにおいても様々な物流手段・ルートを経るが、ここでは災害等の非常事態においても「物流を止めない」との観点から、この物流手段・ルートの代替を想定する状態を「物流BCP」とした。



図：物流BCPの概念図

2. 「企業における物流BCP作成支援」に向けた具体的な取り組み

(2) 「物流BCP作成支援のチェックリスト(仮称)」の作成

BCPに記載されるべき内容の漏れを防ぐための代替輸送手引書に付随する「物流BCP作成支援のチェックリスト(仮称)」等を作成する。

- 事前に確認しておくべきことを一つ一つ列挙する。 ☑(チェック)箇所

項目	行動内容	分類	情報入手先の詳細	入手する情報
代替輸送	☒ 代替輸送ルート	☒ 利用港湾の情報	☒ 港湾管理者の連絡先	港湾の被災状況、船舶の運航状況
			☐ 税関の連絡先	取扱可能貨物
			☐ 検疫所の連絡先	取扱可能貨物
			☐ 港湾運送事業者の連絡先	貨物の受入可否
			☐ 船会社の連絡先	仕向け地までの船荷証券に関する事項
			☐ 運送事業者の連絡先	工場から港湾までの輸送可否
			・ ・ ・	
		☐ 輸送ルートの情報	☐ 道路情報の入手先A	道路の通行可否、所要時間
			☐ 道路情報の入手先B	
			☐ 道路情報の入手先C	

図：物流BCP作成支援のチェックリスト(仮称)のイメージ(案)

3. 「物流BCPの重要性認知向上（PR）」に向けた取組み

3. 「物流BCPの重要性認知向上（PR）」に向けた具体的な取組み

(1) 本取組みの重要性を広く効率的に周知

本取組みの重要性を広く効率的に周知するために、以下の3点を実施する。

◆セミナー・シンポジウムの実施

- 平成25年から継続してきた代替輸送訓練をテーマとしたセミナー・シンポジウムを実施し、より多くの層に本取組みを周知する。
 - ・ 代替輸送をテーマとしたパネルディスカッション
 - ・ 太平洋側の被災時における北陸港湾の有用性についての討論会 など

◆業界団体との連携

- 平成25年から継続してきた代替輸送訓練について、業界団体と連携し本取組みを進める。
 - ・ 日本経済団体連合会、後援団体 など

◆学会での発表・論文投稿の実施

- 平成25年から継続してきた代替輸送訓練の取組みの発表や論文投稿を実施し、より多くの層に本取組みを周知する。
 - ・ 沿岸域学会、土木学会 など

4. 「代替輸送訓練の継続的な実施」に向けた取組み

4. 「代替輸送訓練の継続的な実施」に向けた取組み

(1) 参加者、参加企業の拡大

本取組みの有用性を踏まえ、参加者、参加企業の拡大を図るべく、以下を実施する。

◆研修プログラムとしての採用

- 本訓練を業界団体等の研修プログラムとして採用してもらえるよう働きかけを行う。
 - ・ 土木学会(CPDプログラム) など

5. 令和7年度の取組み

5. 令和7年度の取組み

◆企業における物流BCP作成支援

- 物流BCPに必要な項目の整理を行い、「物流BCP作成支援のチェックリスト（仮称）」等を作成する。

◆物流BCPの重要性認知向上（PR）

- 荷主企業へのセミナー・シンポジウムの実現に向けた検討を行う。
- 日本経済団体連合会や後援団体等のBCPに関心の高い団体との連携を図れる取組みについて検討を行う。
- 沿岸域学会や土木学会等での発表、論文投稿の実現に向けた検討を行う。

◆代替輸送訓練の継続的な実施

- 対面形式での開催とし、今年度の訓練で抽出された「BCPの運用」や「物流2024年問題」等に関する課題を踏まえ、荷主企業や関係者と広域バックアップ専門部会が協同して代替輸送訓練を実施する。
- 研修プログラムへの採用の実現に向けた検討を行う。